

防水性能が認められ
保険契約が可能!

金属製外壁材

センターサイディング

開口部インナーシール工法

NEW

下地でしっかり

防水処理!

開口部まわりの取り合いは
化粧三角シールのみ施工で

納まりがスッキリ!

センターサイディング[®] (金属製外壁材)

NEW

開口部インナーシール工法

新築物件でのセンターサイディング開口部まわりの施工で、
見切縁工法に加えお客様の要望をカタチにした新工法を開発。
見切縁などの付属部材を使わずに下地で防水処理を行うことで、
スッキリとした仕上がりを実現しました。

ニチハの2つの開口部工法！

見切縁工法



NEW 開口部インナーシール工法



見切縁などの部材と
下地で防水性能を
シッカリと確保!

下地で防水性能を
確保しているので
スッキリと仕上がる!

ご注意



- ・「端部カバー・S見切り縁18」を使用する場合(特に、縦張り時の1階土台部と掃出窓)、サッシ際に隙間が発生するため、サイディング本体をカットする際はできるだけ実寸法を正確に測り隙間を小さくしてください。
- ・耐火認定を使用する場合は、中間水切り上部の端部カバーは必要となります。
- ・縦張り時は、P10縦張り時の注意事項もご確認ください。

センターサイディング® (金属製外壁材)

開口部インナーシール工法の特長

特長

1

納まりがスツキリ!

化粧三角シールによる施工で、スツキリした仕上がり



特長

2

保険契約が可能!

「日本住宅保証検査機構 (JIO)」・「住宅保証機構」の
包括3条申請登録 (確認書交付) 済み

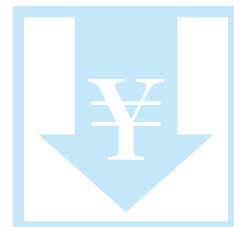


特長

3

開口部まわりの部材数削減!

付属部材費用 + 付属部材の加工時間の削減

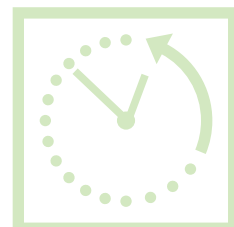


特長

4

開口部まわりの省力化施工!

付属部材の加工手間 + 捨てシーリングによる簡単施工



詳しくは次のページをご覧ください! →

特長
1

納まりがスツキリ!

下地で防水処理を行う施工だから、外壁材とサッシの取り合い部は化粧三角シールによる施工のみ。付属部材がないからスツキリした納まりです。



開口部インナーシール工法

化粧三角シールについて

- ・専用付属部材および捨てシール施工により防水施工を行う新工法で、外壁材と開口部サッシ取り合い部の化粧シールは保証対象外です。
- ・意匠上の化粧シールに関しての不具合は対応いたしかねますのでご了承願います。美観上のメンテナンスを適宜行ってください。

特長
2

保険契約が可能!

「日本住宅保証検査機構(JIO)」・「住宅保証機構」の防水性能に対する包括3条申請登録(確認書交付)済み。建築会社様が同工法で申請を行う場合、「住宅瑕疵担保責任保険法人」との保険契約が可能です。

各社保険契約について

■ 住宅保証機構の場合

提出書類の項目にニチハ(株)の「開口部インナーシール工法」である旨をご記入ください。

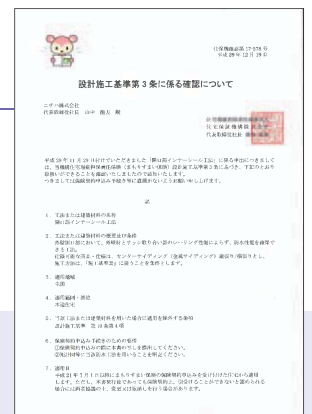
あわせて、ニチハホームページより確認書をダウンロードしていただき、その他書類と一緒にご提出をお願いいたします。

■ 日本住宅保証検査機構(JIO)の場合

確認書の添付は任意です。提出書類の項目にニチハ(株)の「開口部インナーシール工法」である旨をご記入ください。

確認書のダウンロード ▶ ニチハホームページ ▶ <https://www.nichiha.co.jp/wall/center/innerseal/index.html>

ご注意  保険契約には、ニチハ施工基準および純正部材の使用が必要です。



住宅保証機構の提出書類



特長
3

開口部まわりの部材数削減!

新工法は、防水処理部材が追加されますが、S見切縁・S見切コーナー・端部カバーが不要となりコストダウンに。

見切縁工法では、必要な付属部材の加工時間も削減できます。

見切縁18・S見切コーナー・端部カバーが不要!

※NS型 ネオスバン プレミアム施工時は、バック材、段付バック材およびハットジョイナーも不要になります。



見切縁工法

サッシのご確認

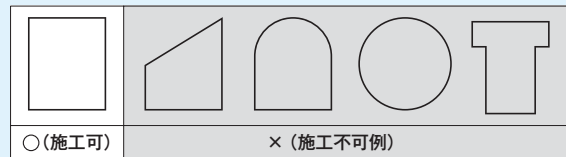
サッシ形状・寸法・位置などにより、開口部インナーシール工法が適用できない場合があります。事前に十分なお確認をお願いします。

① 適応サッシ形状 ———— ・外付け または 半外付けサッシ
・外周形状 (シャッターボックスなどを含めた形状)

② サッシ寸法 ———— W2,900mm以下

③ サッシ釘打ちフィン寸法 — およそ45mm以下

④ サッシ外部枠形状 ———— ・鋼板止水部材施工時のEPDM材の圧縮を阻害しないこと
・鋼板止水部材を四周 (角部含む) 有効に施工できること



NG例

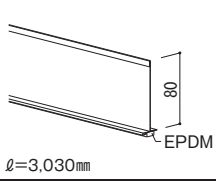
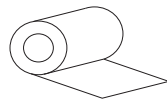
サッシ (縦・横) 枠の取り合いで片側の枠が1mmを超え突き出しているもの
サッシ枠上の留付ビスにより、鋼板止水部材の取り付けが大きく阻害されるものなど
※サッシ上部の場合、正面から止水部材のEPDM部が若干見えることがあります。サッシ枠の取り合いにより見え掛けが大きくなる場合があります。

特長
4

開口部まわりの省力化施工!

見切縁工法で必要な付属部材の加工時間も削減。新たな防水処理部材 (鋼板止水部材・片面防水テープ) と捨てシーリングによる簡単施工です。

※端部カバー、見切り縁を使用しないことによる寸法精度は必要となります。

形状・寸法		
品名	鋼板止水部材	片面防水テープ
品番	KE5000	JF1526
カラー	ブラック	—
標準価格 (税抜)	14,000円/梱	1,500円/巻
梱包入数	10本/梱	1巻/袋
材質	塗装高耐食GLめっき鋼板 + EPDM	アクリル

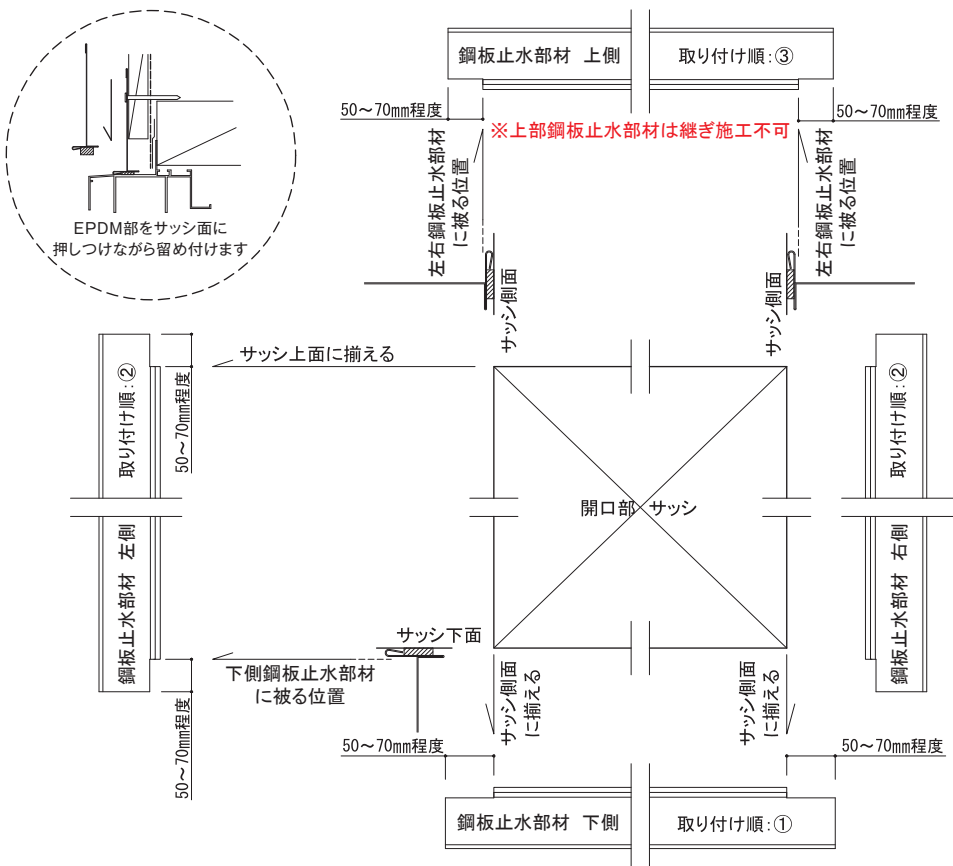
1 適用範囲・仕様一覧

- 1) 対象商品
センターサイディング(金属製外壁材)
- 2) 適用構造
新築：木造軸組工法／木造枠組壁工法
- 3) 施工仕様
木胴縁施工(縦張り／横張り)
- 4) 主要使用部材

品名	鋼板止水部材	
品番	KE5000	
カラー	ブラック	
梱包	10本/梱	
材質	塗装高耐食GLめっき鋼板+EPDM	

品名	片面防水テープ	
品番	JF1526	
梱包	1巻/袋	
材質	アクリル	

5) 施工手順(横張り) ※施工詳細は施工基準書をご確認ください。



鋼板止水部材の加工方法

- 鋼板止水部材の両側のT字部を指定位置で切断加工します。(加工部の長さは50~70mm程度としてください)

やや斜めに切断すると加工し易いですが最小限にしてください。取り合い部に隙間が生じやすくなります。

2 施工手順（横張り／縦張り）

手順
1

防水紙・胴縁の施工

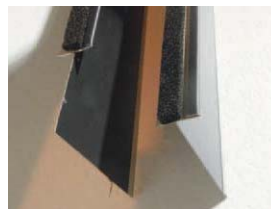
- 開口部まわりには、両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工してください。
- 開口部まわりの胴縁は、幅90mmサイズを使用し、サッシフィンを避けて（サッシと胴縁が20~30mm程度離れている状態）施工してください。



手順
2

鋼板止水部材の施工（下側）

- 開口下側に鋼板止水部材を取り付けます。
 - サッシ横の面に合わせ、部材両端のT字部を切断加工します。
- （参照▶P5）鋼板止水部材の加工方法
- EPDM材が十分圧縮されるように、部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます。

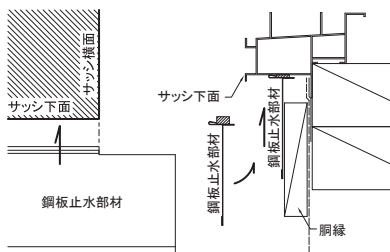


部材両端のT字部の切断加工



※サッシの横面から部材のT字部が飛び出ないように留め付けます。

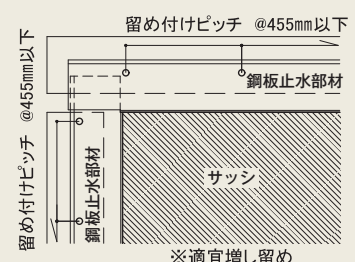
※部材を継ぐ場合は（上側は禁止）、EPDM部が途切れないように突き付け、接合部に捨てシーリングを施工します。



鋼板止水部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます

鋼板止水部材の留め付け

- EPDM材が十分圧縮されるように部材をサッシ面に押しつけながら、胴縁に留め付けます。
- 専用釘（ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm）釘にて@455mm以下 かつ EPDM部が浮く場合は適宜増し留めしてください。



手順
3

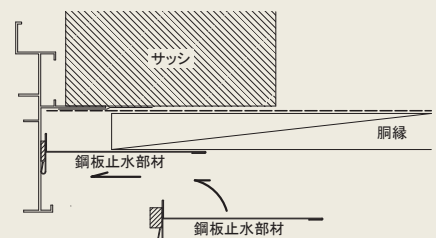
鋼板止水部材の施工(左右側)

- 開口左右側に鋼板止水部材を取り付けます。
- 鋼板止水部材の上側T字部をサッシの上面に合わせ、
下側T字部はサッシ下に取り付けた部材T字部に被さる位置で、切断加工します。
(参照▶P5) 鋼板止水部材の加工方法
- サッシ下に取り付けた部材の上に重なるように施工してください。
- EPDM材が十分圧縮されるように、部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます。
(参照▶P6) 鋼板止水部材の留め付け



左右側施工の注意点

- サッシの上面から部材のT字部が飛び出ないよう、またサッシ下に取り付けた部材T字部に被るように留め付けます。
- 部材の取り合い部など、EPDM部が圧縮されかつ途切れないようにすることが大切です。隙間が出来てしまった場合は、捨てシーリング施工時に隙間部に十分に充てんしてください。
- 部材を継ぐ場合は(上側は禁止)、EPDM部が途切れないように突き付け、接合部に捨てシーリングを施工します。

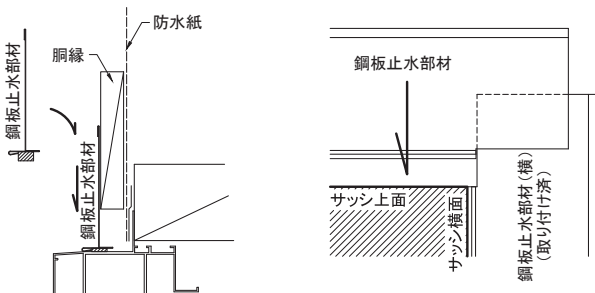


手順
4

鋼板止水部材の施工(上側)

- 開口上側に鋼板止水部材を取り付けます。上側のみ、継ぎ施工をしないよう1本の部材で施工してください。
- 鋼板止水部材の両端T字部を、サッシ横に取り付けた部材T字部に被さる位置で切断加工します。
【参照▶P5】 鋼板止水部材の加工方法
- EPDM材が十分圧縮されるように、部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます。
【参照▶P6】 鋼板止水部材の留め付け
- サッシ横に取り付けた部材の上に重なるように施工してください。
- 開口上側の鋼板止水部材は、EPDM部の見え掛けがなるべく小さくなるよう留め付けてください。
(サッシ上面が傾斜している場合は、EPDM部の見え掛けが大きくなりますのでご了承ください)

※開口上側の鋼板止水部材は、継ぎ施工をしないよう1本の部材で施工してください。
 ※サッシ横に取り付けた部材T字部に被るように留め付けます。
 ※部材の取り合い部など、EPDM部が圧縮されかつ途切れないようにすることが大切です。
 隙間が出来てしまった場合は、捨てシーリング施工時に隙間部に十分に充てんしてください。



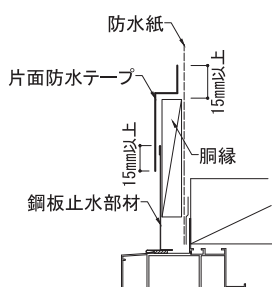
サッシ横に取り付けた部材の上に重なるように施工

手順
5

片面防水テープの施工

- 開口上側の鋼板止水部材～胴縁～防水紙にかけて、片面防水テープ(100mm幅)を施工します。
- 片面防水テープは、鋼板止水部材・防水紙に15mm以上重なるように貼ってください。

※隙間の出ないように十分に貼り付けてください。



鋼板止水部材・防水紙に15mm以上重なるように貼る

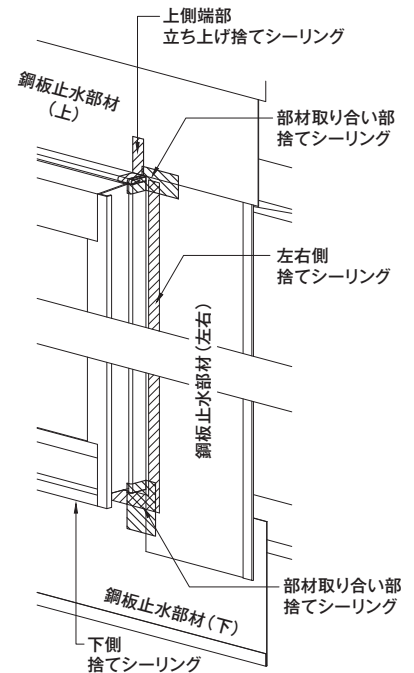


手順
6

捨てシーリングの施工

- サイディング施工の際に、鋼板止水部材上に捨てシーリングを施工します。
- 開口上側の両端、開口左右側、開口下側、鋼板止水部材同士の取り合い部に捨てシーリングを施工します。
(開口上側の両端部は、20mm以上の立ち上げシーリングとしてください)
- 鋼板止水部材の継ぎ部(上側を除く)、EPDM部が充分圧縮されず隙間が生じている箇所、鋼板止水部材の取り合い部などでEPDM部が連続せず途切れてしまった箇所などにも適宜捨てシーリングを施工してください。

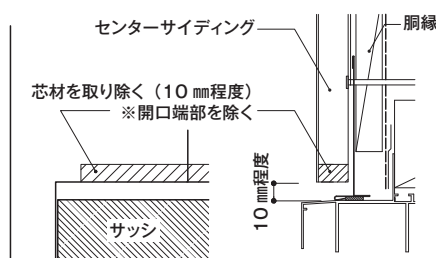
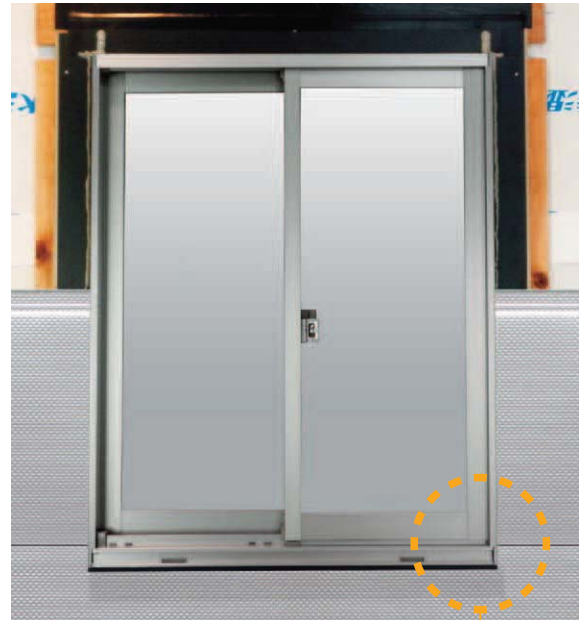
※サイディング裏面に密着する位置に施工してください。



手順
7

センターサイディング(横張り)の施工

- センターサイディングを施工します。
- 開口上側のセンターサイディング「下端」の芯材を、10mm程度取り除いてください。(手順6の開口上側の両端部立ち上げシーリングに接する部分は、芯材を取り除かないで下さい。)また、開口上側はサッシとの間に10mm程度の隙間を設けてください。
- 開口左右側・下側は、できるだけサイディングと鋼板止水部材およびサッシとの隙間が小さくなるように施工してください。
- センターサイディングを専用釘で実部に留め付けてください。



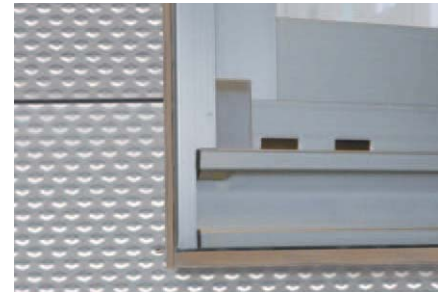
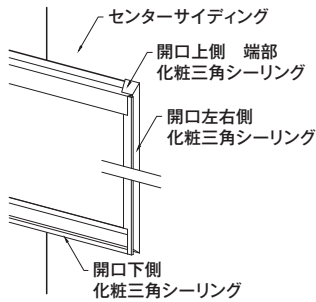
サイディングとサッシとの隙間が小さくなるように施工

手順
8

化粧三角シールの施工方法

- センターサイディング施工後、サイディングとサッシの取り合い部に化粧三角シーリングを施工します。
- 開口上側は、両端部に施工します。センターサイディングと鋼板止水部材との隙間に、奥まで充てんしてください。開口左右・下側は、化粧三角シーリングを施工してください。

※なお、化粧三角シーリング部に関しての不具合は対応いたしかねますのでご了承ください。美観上のメンテナンスを適宜行ってください。



3 完成

- [手順7]の方法で残りのセンターサイディングを施工していく。



注 | センターサイディング縦張り時の注意事項

- 右方向へ施工する場合、サッシ左際（左方向の場合は右際）に、かん合部のみ込みシロ分の隙間が発生します（例：ネオスパン約20mm）。その場合、シーリングまたはバッカー材+シーリングを十分に充てんし意匠性を確保してください。
- 土台部および中間部に端部カバーを使用する場合、サッシ下端に端部カバーのみ込みシロ分の隙間が発生します（例：ネオスパン約15mm）。この場合もシーリングまたはバッカー材+シーリングを十分に充てんし、意匠性を確保してください。
- シーリング充てん時は、サイディング表面の鋼板部に十分シーリングがかかるよう施工してください。



確認書のダウンロードのご案内

開口部インナーシール工法ページはこちら

▶ <https://www.nichiha.co.jp/wall/center/innerseal/index.html>

ニチハホームページより確認書のダウンロードと開口部インナーシール工法パンフレットをご覧ください。

ここをクリック! /



スマホ、タブレットからも
ご覧いただけます。



営業所一覧

- **北日本営業部** TEL(022) 395-6776
- 札幌営業所 TEL(011) 753-7171
- 青森営業所 TEL(017) 722-0080
- 盛岡営業所 TEL(019) 654-5981
- 秋田オフィス TEL(018) 864-6330
- 仙台営業所 TEL(022) 395-6776
- 郡山営業所 TEL(024) 938-2611
- **北関東営業部** TEL(027) 327-6669
- 新潟営業所 TEL(025) 245-6528
- 高崎営業所 TEL(027) 327-6669
- 宇都宮営業所 TEL(028) 633-5222
- 水戸営業所 TEL(029) 231-3145
- 長野営業所 TEL(026) 225-6171
- **首都圏営業部** TEL(03) 5205-3913
- 大宮営業所 TEL(048) 652-2601
- ※ 東京営業所 TEL(03) 5205-3913
- ※ 東京特販課 TEL(03) 5205-3915
- 特販第二部営業第一課 TEL(03) 5205-3914

- 特販第二部営業第三課(東京) TEL(03) 5205-3916
- 西東京営業所 TEL(042) 525-7711
- 千葉営業所 TEL(043) 301-8533
- 神奈川営業所 TEL(045) 475-1470
- 相模原オフィス TEL(042) 730-5558
- **中部営業部** TEL(052) 619-0591
- ※ 名古屋西営業所 TEL(052) 619-0590
- ※ 名古屋東営業所 TEL(052) 619-0596
- ※ 名古屋特販課 TEL(052) 619-0595
- 特販第二部営業第三課(名古屋) TEL(052) 619-0591
- 静岡営業所 TEL(054) 283-3505
- 金沢営業所 TEL(076) 239-3136
- 岐阜営業所 TEL(058) 264-1797
- **関西営業部** TEL(06) 6532-2391
- ※ 大阪営業所 TEL(06) 6532-2391
- ※ 大阪特販課 TEL(06) 6532-3177
- 特販第二部営業第二課 TEL(06) 6532-3477
- 特販第二部営業第三課(大阪) TEL(06) 6532-3008

- 京都営業所 TEL(075) 634-3535
- 姫路営業所 TEL(079) 288-2891
- 岡山営業所 TEL(086) 232-1751
- 広島営業所 TEL(082) 568-7128
- 松山営業所 TEL(089) 935-8411
- 高松オフィス TEL(087) 813-7733
- **九州営業部** TEL(092) 472-1121
- 福岡営業所 TEL(092) 472-1121
- 長崎オフィス TEL(095) 820-3411
- 北九州営業所 TEL(093) 521-1561
- 熊本営業所 TEL(096) 371-2911
- 鹿児島営業所 TEL(099) 813-4117
- 宮崎オフィス TEL(0985) 35-7773
- ※ **■ 本 社** TEL(052) 220-5114

※ISO9001:2015(業系建材の製造)認証部署

ショールームのご案内

開館時間 ●AM10:00 ~ PM5:00

休館日 ●毎週水曜日(広島ショールームのみ毎週水・木曜日)・5月GW・夏期休暇・年末年始

詳細につきましては、最寄りの各ショールームまでお問い合わせください。(特に、営業日、営業時間につきましては、必ずご確認ください。)

外装に関する商品を豊富に展示しているニチハのショールーム。実際に見たり、手で触れたりしながら、デザインや色調、質感などを確認いただけます。

- **札幌ショールーム** TEL.011-753-7775 FAX.011-753-6660
- **仙台ショールーム** TEL.022-395-6778 FAX.022-265-8588
- **東京ショールーム** TEL.03-3548-0191 FAX.03-3548-0202
- **本社ショールーム** TEL.052-220-5113 FAX.052-220-5160
- **大阪ショールーム** TEL.06-6532-2265 FAX.06-6532-2275
- **広島ショールーム** TEL.082-568-7608 FAX.082-568-7609
- **福岡ショールーム** TEL.092-436-8099 FAX.092-436-8087
- **鹿児島ショールーム** TEL.099-813-4118 FAX.099-813-4128

お客さま相談室のご案内

商品のお問い合わせ、ご相談は最寄りの弊社営業所または下記お客さま相談室にお問い合わせください。

【お客さま相談室】受付時間 ●月～金 AM9:00～PM5:00
(土・日曜日・祝日・5月GW・夏期休暇・年末年始を除く。)

TEL 052-220-5125 FAX 052-220-5157

カタログ、サンプルのご依頼は最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

■ 価格についてのご注意

- ・本カタログに表示された標準価格と仕様は2018年6月現在のものです。
- ・本カタログに表示された標準価格はメーカー希望小売価格です。
- 消費税・工事費・運賃・廃材処理費などは含まれておりません。

■ お願い

- ・印刷物のため実物の色柄と異なる場合がございます。
- ・本カタログ掲載商品につきましては改良のため仕様の一部を予告なく変更させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ・本カタログは商品カタログです。施工につきましては設計施工資料集(別冊)をご参照ください。
- ・なお、施工は専門施工が必要ですので、建設会社様・工務店様または販売店様・専門施工店様にご相談ください。

◎ 特約販売店